



**国際協力研究科
教育文化専攻教育開発講座**

発展途上国の初等中等教育の退学の要因追跡研究や生徒の成績の向上に関する研究を行っています。



**先端物質科学研究科
量子半導体工学研究室**

次世代半導体デバイス実現に向けた、材料・デバイス形成技術に関する研究を行っています。



**教育学研究科
科学教育方法学研究室**

理科を通じ子どもに多様な能力を付けさせる方法を研究しています。春に新たな仲間も加わり、切磋琢磨中!



**医歯薬保健学研究科
統合健康科学部門 小児歯科学研究室**

診療や研究・臨床教育に日々邁進しています。5月に日本小児歯科学会大会を主催します!

研究室・ゼミ紹介

研究室・ゼミの仲間と一緒に裏表紙に出してみませんか?
メンバーで写った写真と以下の項目を送ってください。
●代表者の氏名、所属学年、連絡先(電話番号とメールアドレス)
●研究室・ゼミ名とその紹介コメント(50文字以内)
E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jpまで

**HU-style
学生スタッフも
募集中!!**

本誌に対するご意見や、誌面を盛り上げるアイデアを募集中です!

E-mail : koho@office.hiroshima-u.ac.jp まで。

● 広島大学HP ● <http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>



広大生のための広報誌

HU-style

Apr.2015

vol.

41

Hiroshima University

広島大学

巻頭インタビュー

広島大学長

越智光夫

特集 **あなたの出合い**
教えて!



広島大学長

越智光夫

おちみつお
OCHI, Mitsuo

●プロフィール 1952年8月6日生まれ。愛媛県今治市出身

●学歴・学位称号 1977年 3月 広島大学医学部卒業
1984年 10月 医学博士(広島大学)

●略歴 広島大学医学部卒業後、1983年からペーラー病院(オーストリア)、ウィーン大学形成外科(オーストリア)、パビア大学(イタリア)、ルンド大学(スウェーデン)へ留学。島根医科大学教授を経て、2002年に広島大学整形外科教授へ就任。1996年より世界初の三次元自家培養軟骨移植を開始し、2004年に内閣府の産学官連携功労者表彰「日本学術会議会長賞」を、2010年には文部科学大臣表彰「科学技術賞」を受賞。広島大学病院長(2007～2011年)、理事【医療担当】(2008～2011年)、理事・副学長【医療担当】(2011～2012年)、学長特命補佐【北口開発担当】(2012～2015年3月)を務めながら、研究、教育、診療に従事した。
2015年4月から広島大学長。

専門分野について教えてください。

主に整形外科に関する研究で、中でも膝に関することが専門です。軟骨組織は自然修復しないので、患者さんから採取した軟骨細胞を培養し、欠損部分に移植する手術なども行っています。

2月に世界初の手術を成功させたそうですが。

磁力を用いて欠損した軟骨組織を修復するという治療法ですが、これまでの12年間の研究を思うと、感激は大きかったですね。しかし世界初ということよりも、その手術方法が患者さんに適しているかが重要です。手術が患者さんに合っているかは、今後約1年かけて確かめていくことになるので、まだまだこれからが大事ですね。

また画期的な治療法でも、保険収載(保険を適用できる治療法としての認定・登録)として認められなければ、患者さんの金銭的負担が大きくなってしまいます。今後も手術の安全性や効果を確認する研究を行っていき、全国のどこでもこの手術が受けられるようになってこそ、今回の成功が真に意味を持つのだと思っています。

新しい治療法や研究の発想を生み出す源は何ですか？

アイデアというのは、考え続けないと生まれないと思っています。大事なことは「今はまだ不十分」と考えることです。「今のままで98%うまくいく」と満足せず、考えて考えてそれを100%にしていくことです。そして、そのアイデアを実行していく時に大切なのが「出会い」と言えるでしょう。

例えば、島根医科大学に勤めていた時のことですが、島根県は広島県に比べ人口が少なく、高齢者の方が多いという特徴がありました。そこで、あまり体に負担のない部位から細胞を取り培養して、欠損した患部に移植する手術を行ったのです。以前からこの手術法は知っていましたが、島根に行かなければ「出会い」にはなりません。つまり患者さんにとってよ

“出会い”を“つながり”に変えていこう

春。新入生が入学して、広島大学に新しい出会いがあふれる季節です。

新しい出会いと言えば、今年度から大学の顔である学長に、越智光夫教授(大学院医歯薬保健学研究院)が就任しました。

整形外科医として、一般の患者さんからプロスポーツ選手まで、数多くの手術を行い高い実績を挙げています。

世界中で活躍してきた越智先生にこれまでの「出会い」や、新学長として広大生に伝えたいことを伺いました。



り良い100%に近い治療を提供しようと考え続けるうちに、この手術法と「出会い」、今私が行っている保険収載されている軟骨治療法につながったということなんです。

広島大学での学生時代、印象的な出会いはありましたか？

2人の先生との出会いです。1人目は当時助教教授をされていた村上弓夫先生です。卒業後は、地元で働こうと思っていたのですが、村上先生に広島大学病院で働くよう強く勧められました。あの時広島大学に残っていなければ、今の研究には携わっていないでしょう。↑

2人目は恩師と呼べる津下健哉先生との出会いです。手の外科の専門であった先生を訪ねて、全国各地から患者さんが来ており、当時学生だった私には衝撃的でした。「この先生のもとで整形外科医になって、多くの人を救いたい」と思いました。このお二人のことを考えると、広島大学への入学自体が大きな出会いとも言えますね。

そういった出会いの中で、大切にしていることは何ですか？

「出会い」をいかに「つながり」にしていくかです。そして、つながりを途切れさせないことが

大切ですね。医師として働き出した頃に仲良くなった友人とは、今もメールで連絡を取り合っており、多少忙しくても誘いがあったらできるだけ会うようにしています。

つながりを作るためには、まず「出会い」が必要です。多くの人と出会い相手に興味を持ち、その人を知ろうと努力してほしいです。もちろん、人とのつながりは良いことばかりではありません。傷つく時だってありますし、面倒なことが起こる時もあります。しかし、そういったネガティブなことも含めた出会い・つながりだと思います。誰もつながらない、何も起きない人生は、きっと楽しくないでしょう。↓



学長になると、研究の最前線から離れなくてはいけなくなると思うのですが、寂しさなどはありますか？

手術や研究の現場から離れるのは、やはり寂しいでしょうね。学長候補者として決まった際、世界中の研究者や友人たちから「学長になったら研究をやめるのか」と聞かれました。手術をして課題にぶつからないと、新たに思い付くことも減ってしまうでしょう。しかし、そういった方たちとの縁が切れるわけではないですし、「考える」ことをやめるわけではないので、研究自体をやめたとは思っていません。

それでも学長になろうと決意したのは、母校への思いですね。医師としての自分に出会わせてくれた広島大学に感謝して、世界トップクラスの大学にしていきたいと考えています。

昨年、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援(トップ型)」13大学の1つに採択され、国際化をはじめとする広島大学の改革はさらに加速化すると聞きます。どのような展望をお持ちですか？

国民の皆さんからの期待が今回の「トップ型」採択につながったわけですから、教職員一丸となって、それに応えていかなければならな

いと考えます。

これからの広島大学にとって一番重要なのは、世界に通用する人材を育てることです。国際化した競争社会では、あらゆるところで勝負していかなくてはなりません。「あなたは何を持っていますか?」という質問に答えられないと、「出会い」の前に終わってしまいます。そのために大学は、社会が求める人材や、専門性を持った人材を輩出していく環境を整備していきます。これは「大学側の改革」だけではなく、広大生である皆さんも「改革」し、がんばっていくことを意識してください。

特に広大生に求めることは何ですか？

ぜひ早いうちに、留学などを通じて海外へ行ってほしいですね。安全が確保できる場所であれば、日本人の団体ではなく、1人で行くこともお勧めします。ある学生がアメリカへ1人で留学したのですが、他の国からの留学生と意見が合わずに無視されて悩んだ時もあったそうです。しかしそこで悩み、自分で立ち向かったからこそ、一回りも二回りも強くなって帰国しま

した。海外に行くと、外から日本について考える機会もできます。日本の中から見ているだけでは、日本の良さを全て知ることはできません。

また本学は、「平和を希求する精神」を基本理念の1つに掲げています。広島大学に入学したからには、平和について考える人間になってほしいです。以前、外国人が選ぶ日本の人気観光スポットランキングで、広島平和記念資料館が1位に選ばれていたのを知っていますか？海外の方にとっても、広島は特別な場所とされているのでしょうか。だからこそ、平和を身近に実感できる広大生の皆さんには、平和を希求する人として育ててほしいですね。

最後に、広大生にメッセージをお願いします。

卒業がゴールではないことを強く伝えたいです。卒業して、その後どうするのが一番重要な点です。そしてこれから会う人と、たくさんの大切なつながりをつくるよう努力して、学生生活を過ごしてください。



お話を伺って、「出会い」自体は日常にあふれているが、その出会いを大切にもらえ、つながりにしていこうとする感覚が大切なのだと感じました。私もこの春、気持ちを新たにいろんな人とつながりをつくりたいです。
取材・記事 / 教育学研究科MI 野田 順平

あなたの の 出会い を 教えて！

「春は出会いの季節」と言われますが、大学は季節に関係なく、友人、先生、学問、課外活動など、新たな出会いに満ちあふれています。広大生が大学生活においてどのような出会いをしているか気になりますか？今回は20人の広大生たちに印象的な出会いに関するエピソードを聞いてみました！



世界に広げよう友達の輪！

吳怡臻(ゴ・イシン)さん
台湾からHUSA(広島大学短期交換留学)プログラムで留学中

友達の紹介で、毎週火曜日に学生プラザで行われているインターナショナルカフェに参加し、世界各国からの留学生と出会いました。異なる国と文化を持つ学生からいろいろな話が聞けて学ぶことも多く、友達が友達を連れてくるので、毎回新しい人と出会える楽しみがあります。カフェではお好み焼きパーティーなどのイベントも行っています。私の留学期間はわずか1年間ですが、友達の輪が広がったことにとっても感謝しています。広島大学に来て本当に良かったです。



カフェだけじゃなく世界の友がメニューです



サイクリングとの出会い

大西勇輔さん 総合科学部3年

大学入学後、ただ「旅をしてみたい」という漠然とした理由でサイクリング部に入りました。それまではあまり自分で計画し行動を起こすタイプではなかったので、そんな自分を少しでも変えようと思ったこともあります。今でも消極的な性格には違いありませんが、自分で率先して計画を立てて仲間と旅を楽しんだり、息を切らしながらも山を登り切ったりする中で、少しずつ行動力が付き、自分が変わってきているのかなと感じています。

性格も前に進めるべタルかな



横谷さん

新居さん

先輩とボクと、野球観戦

横谷祐樹さん 工学部2年(左)
先輩=新居広太さん 総合科学部4年(右)

僕の趣味は野球観戦なのですが、これまで僕に勝るプロ野球好きは周りにいませんでした。しかし、旅サークルで出会った新居さんは僕よりはるかにプロ野球好きで、野球観戦について多くのことを教えてくれました。そしてついに先輩と野球観戦サークル「Grand Slam」を立ち上げました！今ではそのサークルを通じ、多くのプロ野球好き広大生とつながることができました。僕は先輩に出会ったことで、大学生活がより楽しくなりました。

立ち上げたグラントスラムで駆け巡る





ゆかいな仲間たちと夢

石橋優奈さん 教育学部3年

大学に入学してから最も大きかったのは、国語文化系コースの仲間たちとの出会いです。私たちのコースは1学年23人と人数こそ少ないものの、みんな仲が良く、明るく面白い人たちがばかりなので、一緒にいるといつも笑いが絶えません。また、互いに支え合い、時にはしかってくれる、本当に優しい人たちばかりです。全員で高め合い、夢に向かって成長していけることを何より喜ばしく感じます。心から出会えて良かったと思える、最高の仲間たちです。

成長の証しと支えは友と夢



人生の先輩方との出会い

奥田健斗さん 理学部3年

大学入学前は「良い大学を出て、良い会社に入ったほうが良い」と思っていました。大学から始めた消防団でのアルバイトなどで、学生の自分とは異なる社会人と出会う機会が増えました。社会人の方たちと一緒に飲みに行ったり、話を聞いたりするうちに、いろいろな生き方があるのだと感じ、将来の仕事に対してもっと柔軟に考えられるようになりました。今は「良い会社」を目指すのではなく、「自分の価値観に合った場所」を見つけたい、と考えています。

価値観を知るいろいろな機会があるバイト



仲間との出会い

馬曉琪(マ・ショウチ)さん 経済学部夜間主コース3年

広島大学で出会った多くの人たちのおかげで、人生が変わりました。私は高校生の時に、中国から来日しました。大学入学前は日本語に自信がなく、授業に付いていけないか、友達ができるかどうかとても不安でした。しかし、先生方は分からないことがあれば熱心に教えてくれますし、同級生や先輩方も優しく、とても感謝しています。スポーツが好きなおともあり、バスケットボールをはじめいくつかのサークルに所属するなど、今は大学生活を満喫しています。

不安でも仲間がいればFunになる

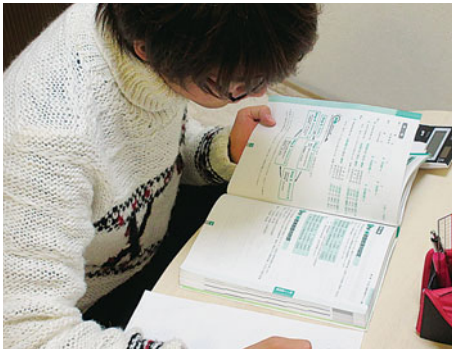


お互いを高め合う仲間との出会い

杉山滉季さん 経済学部3年

大学へ入学してから、簿記の資格を取ろうと自分で勉強していました。しかし、独学での勉強は厳しく、大学の授業やアルバイトなども忙しくなったことで、一度諦めかけました。そんな時、大学に入ってきた友達に簿記の勉強を促され、そのことを知り、分らない所は教え合うなど2人で励まし合いながら、昨年冬には2人そろって簿記2級を取得しました。

独学も仲間とならば特に楽



100人以上のスタッフとの出会い

仲亮輔さん 薬学部4年

最も大きな出会いは、新入生の時に参加し、1年生から運営スタッフとして活動してきた、かすみオリエンテーションキャンプ、通称“オリキャン”です。この活動を通じ、先輩・同級生・後輩・教職員の方とのさまざまな出会いがあり、人とのつながりの大切さを強く感じるようになりました。100人以上のスタッフが和気あいあいと、時には困難に協力して立ち向かい、キャンプを成功させた後の達成感と充実感は私にとって大変貴重な財産になっています。

オリキャンで出会い、つながる Yes we can!



ゲストハウスでの出会い

黒高絵里奈さん 生物生産学部2年(写真/前列左側)

昨年の冬休みに、友人と旅行で愛媛に行きました。その時に宿泊した松山市道後のゲストハウスで、学生の私たちにはない広い視野や考え方をもち、ユニークな生き方をするオーナーさんとその友人の方々と出会いました。この時の交流はとても刺激になり、一晩で旅行前には想像できなかったほど、私たちの世界は広がりました。次に会う時には、少しでも成長した自分でありたいと思えるような、すてきな人たちに出会えた旅でした。

一部屋から世界が広がる旅の縁





大学祭実行委員会との出会い

合田圭佑さん 工学部3年

広島大学に入学して、大学祭実行委員会に入りました。実行委員会は、ゆかたまつりや大学祭の実行に向け多くの仕事がありますが、1年生の頃はいつも、「周りがやってくれるだろう」と思い、あまり自ら進んでやることはありませんでした。しかし委員最後の仕事となる2年生の時の大学祭で、周りに頼るだけでなく、自ら動き真剣に取り組むことの楽しさを感じ、祭りが終わった後にも達成感も得ました。今は何事にも真剣に取り組むようになりました。



祭り事
皆で楽しむ
政(まつりごと)



伝え上手な先生との出会い

児玉佳奈美さん 総合科学部3年

統計学の講義を受講し始めたころ、数学が苦手な私は少し不安でした。しかし国際協力研究科の市橋勝先生の授業は、統計学に関する時事ネタを多く取り入れており、非常に面白かったです。自然と統計学への興味が深まっていき、このことから、教え方を工夫すれば相手に伝わりやすくなり、興味を持つてもらえるのだと知りました。私も先生を見習い、日々の「伝え方」を意識し、人に上手に伝えられるようになりたいです。

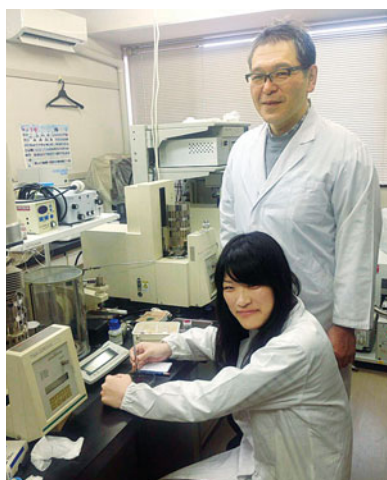
統計で
伝え方まで
推し測る

恩師との出会い

植田悠未さん 教育学研究科M1

私にとって大学での一番の出会い、卒論の指導教員である古賀信吉先生です。私が専攻する理科教育の分野では「探究」という言葉がよく使われますが、卒論に取り組むまで、私自身、探究をしたことがありませんでした。しかし先生の指導を受ける中で、探究の仕方だけでなく、探究することの苦しさがあるからその楽しさも教えていただきました。将来教師になった時には、古賀先生に教わった探究の醍醐味を子どもたちに伝えていきたいです。

師と出会い
探し求めて
苦楽知る



インターンシップでの出会い

佐々木俊祐さん 法学部夜間主コース3年

1年の冬、授業で知った議員インターンシップに参加し、30歳という若さで国会議員となった方をはじめ、キャンパスの中だけに留まっていたら出会えない人たちに多く出会いました。そうした方々の話を聞いたことで、「将来どんな社会にしたいのか、そのために自分に何ができるか」を初めて考えるようになりました。今は、子どもたちを対象とした古典の素読教室の運営に携わったり、他大学の学生と共に歴史や国内の問題、国際情勢に関する勉強会を開催したりして、未来の子どもたちに何が残せるかを日々考えています。

飛び出して
内面を知る
インターン



生命の神秘との出会い

三枝義尚さん 医学部4年

解剖学実習は、医学部医学科2年生の必修科目です。3~4人で1つの班をつくり、3カ月かけて人体を自らの手で解剖し、その構造を知ることが目的です。解剖を進める中、覚えるべき人体の構造や機能に関する膨大な知識に圧倒されましたが、緻密に無駄なく創られたヒトの体に、生命の神秘と畏怖を感じました。解剖学実習を終えた時、私たちの想像を超えた大いなる自然の力を垣間見た気がして、ヒトや生き物を見る目が変わりました。このような機会をいただいた先生方や実習で共に学んだ同級生、そしてご献体いただいた方とご家族には感謝の気持ちでいっぱいです。この経験を生かし、患者さんの心に寄り添う医療を実践できる医師になりたいです。

人体の
秘密は
緻密で
神秘なり

仲間との出会い

西田朋世さん 歯学部4年



友人に誘われて入部した歯科英語サークルHUDIC (Hiroshima University Dentistry International Club) で、歯科診療で使う英語を学んだり、歯科に限らず日本文化を英語で説明する練習をしたりしています。この入部をきっかけに歯学部留学生との交流も増え、勉強だけでなく人との交流にも積極的な留学生たちから刺激を受けています。また、留学経験豊富な先輩や国際的な視点を持った友達と出会えたことが糧になっています。これからもみんなで高め合いながら部活を盛り上げていきたいです。

歯科英語
知識と
友情
生えそろう



親友との出会い



Chiara Paola Supnet
(キアラ・パオラ・スプネット)さん
フィリピンからHUSA(広島大学短期
交換留学)プログラムで留学中

同じHUSAで台湾から留学中のイさんとお
会ったのは、去年の秋に来日した時でした。大
学のオリエンテーションが終わった後に初めて
話しかけると、とても優しくすぐに仲良くなりま
した。その後日本語の授業も同じクラスになったこ
とから、遊びだけでなく、一緒
に日本語の勉強もがんばって
います。この留学が終われば
離れ離れになってしまいます
が、彼女との友情を一生大切
にしていきたいと思っています。

オリエン
で
織りなす
縁は
一生もの



司会との出会い



徳光直樹さん 法学部3年

入学後、広島大学フェニックス放送(PBC)に入り、学内
の音楽団体の定期演奏会の司会などを経験しました。
活動する中で、どうすれば依頼者の
方に満足してもらえるのか、どのような司会を目指
せば良いのかと悩むこともあり。今は依頼者
に寄り添いその思いをしっかりとみ取って伝えられ
るよう、自分にできることを誠実
にこなすことに努めています。今
後も、素晴らしい経験が得られ
る司会の仕事を続けていきたい
ですね。

人前
で
マイクをつか
み
夢つかも!



留学での出会い



田地志帆さん 文学研究科M1

学部生の時にフランスのトゥールーズに留学したのですが、当時
フランス語が伸び悩んでいて落ち込んでいました。その頃バドミ
ントンの授業で、日本に興味のある
女の子と仲良くなり、遊びに行く約
束をしました。当日その子が別の友
達も連れてきたことがきっかけで、
一気に友達が増え、フランス語が
上達しました。
私はもともと人見知りでしたが、人
と関わる機会が増えたことで自信
が持てるようになり、留学を通じ社
交性や積極性が得られました。

伸ばした手
友達の輪が
海越ゆる



友人との出会い



槌本省三さん 教育学部3年

以前から私の暮らしている町に住む外国の方と交流していたので
すが、彼らに日本語を教えてあげたいという思いが起こり、日本語教育
系コースに入学しました。授業でのグループワークな
どで、特に中国からの留学生と触れ合う機会が多く
ありますが、彼らの「日本語の教師になりたい」という
強い意気込みに感心しています。彼らの元気に刺激
を受け、自分のモチベーションも上がり、さらに日本
語教育を広く深く学びたいと思うようになりました。

意気込みに
刺激を受け
て
私も立つ



世界中の仲間

Chindavanh Souriyaphack(チンダワン・スーリヤパック)さん 国際協力研究科M1

2014年にJICAの「人材育成奨学計画」(JDS)という事業で、ラオスから来日しました。私の所
属する開発技術講座で、国籍・専門分野・背景が多様な人々と出会い、学内外での国際交流
活動に興味を持つようになりました。現在は広島大学の国際交流ボランティアネットワーク
NOIEのメンバーとして、小中学校などで私の国ラオスの文化の紹介などを行っています。卒業
後は日本や広島大学での経験やネットワークを生かし、自国の発展に関わる仕事
がしたいと思っています。

国あれど
知への思いに
境なし



研究室訪問

広島大学には、広〜いジャンルにいろんな先生がいて、深〜い研究を行っています。研究室におじゃまして、その世界をのぞいてみましょう。

興味の門戸を 広げよう

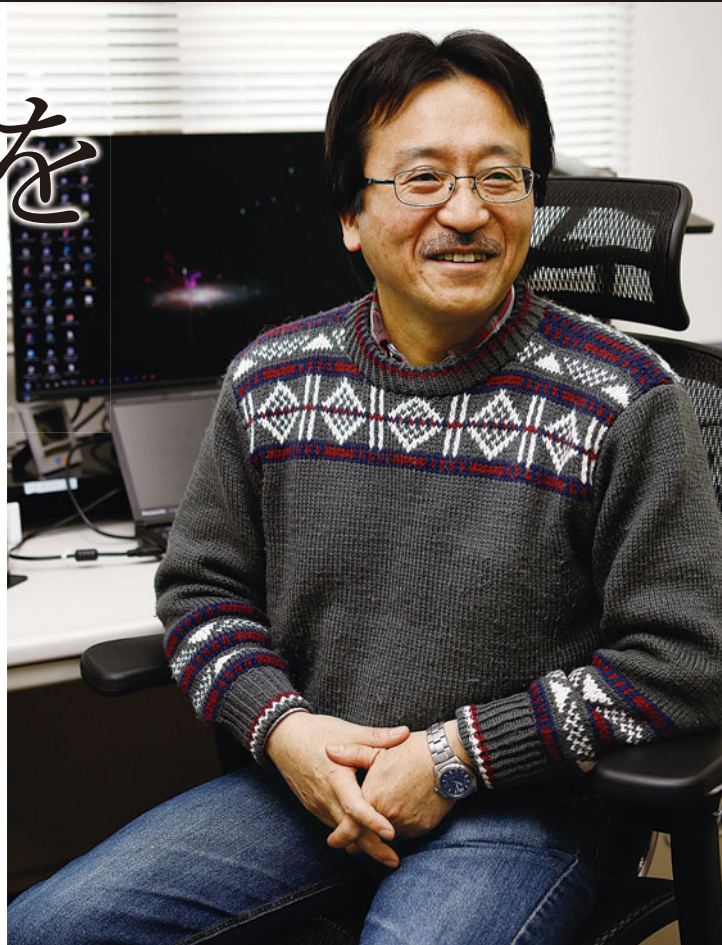
宇宙科学センター

吉田 道利 教授 Michitoshi Yoshida

京都大学大学院理学研究科博士課程修了。国立天文台岡山天体物理観測所所長などを経て、2010年1月から現職。2010年4月より広島大学宇宙科学センター長。博士(理学)



東広島天文台 (宇宙科学センター)



研究内容を教えてください。

宇宙科学センターでは、国立天文台から移設された、国内でも有数の規模を誇る「かなた望遠鏡」という光学赤外線望遠鏡などを用いて、最先端の観測天文学の研究を推進しています。私は星の爆発現象の解明に取り組んでいます。

太陽などの恒星は、やがてエネルギーを使い果たし“死ぬ”のですが、この時に爆発現象を伴います。この「超新星」と呼ばれる最後の爆発により、星の元素は宇宙空間に飛び散り、それが次に生まれる星の材料となります。こうして宇宙は複雑化していくので、この爆発現象の解明は、宇宙全体の進化の解明にとっても重要です。ただ、この爆発はいつ起こるか予測できないため、爆発の瞬間を捉えるため、世界中の天文台が協力して観測・研究しています。

天文学は、何か新しいことを発見すると、すぐに新しい謎が生まれます。最終



かなた望遠鏡で捉えた超新星 (左上の黄色線で示した星)。画像中央右にある渦巻銀河の外縁に2012年10月に出現しました。



かなた望遠鏡 (1.5m 光学赤外線望遠鏡)

的に何かを完成させる学問ではないので、まさにずっと階段を上るような感じですね。

宇宙や天文学との出会いについて教えてください。

初めて星に興味を持ったのは小学生の頃です。家にある宇宙の図鑑を眺めていた時、地球よりも大きい太陽よりもさらに大きな星があることを知り、なぜそんな星が宇宙に存在できるのかと疑問に思いました。

しかし大学では物理に興味を持ち、素粒子物理学を勉強していました。3年生の時に、大学の屋上にある望遠鏡で星を観測し、温度や大きさを調べるという実習に参加しました。その時に星を研究する「天文学」

という分野と、小学生の頃に抱いた星への興味につながり、本気で天文学を研究しようと思いました。

広大生にメッセージをお願いします。

人は知らないことに興味は持てません。知っていることの中で満足すると、新しいことに興味を持つことなく世界は閉じてしまいます。最初に興味のなかったことも、少し知ると興味を持てるものです。大学生のうち、何にでも興味の門戸を広げ、いろんなことを知ろうとする姿勢を持ち続けてください。そうしているうちに、自分が本当にやりたいことが見えてくるかもしれません。



小学生の頃に抱いた感動が、大学生になってよみがえり、現在の仕事につながるといことはすごいと思いました。私も自分の門戸を広げ、残りの大学生活で、いろいろなことに興味を持ちたいです。
取材・記事/総合科学部3年 寺坂 絵里



高いハードルを 跳び越えたい

祖一 澄人 Sumito Soichi
武田薬品工業株式会社 医療営業本部 東京支店
日本橋営業所
(2013年3月 経済学部卒業)

現在どのようなお仕事をしていますか？

病院で働く医師などの医療関係者に、自社の医療用医薬品を中心とした医薬品の適正使用に関する情報の収集・伝達を行う、MR (Medical Representatives) と呼ばれる仕事をしています。現在は、2千人ほどの医師がいる大学病院を担当しています。私たちは、患者さんと直接お話しすることはありませんので、医療関係者から患者さんの症状やニーズを正確に聞き取り、患者さん一人一人に合う治療を医師に提案します。医薬品は人の命に関わるもの。提案する情報に誤りがあることはありません。また、医療は日々進歩するものなので、医療の専門知識を勉強したり、英語で書かれた論文を読んだり、しっかり準備をした上で医療関係者に会うことが欠かせません。責任が重く大変な仕事ですが、自分が勧めた治療で患者さんの症状が改善されたと聞くと、うれしくやりがいを感じます。



なぜこの仕事を選んだのですか？

自社で商品を作っていて、それを使ってもらって喜びを感じられるメーカーで働きたいと考えていました。さらにアメリカへ留学中、NPOでのインターンなどを通じてさまざまな経歴や考えを持った人々と話すことで、お金のためだけに働くのではなく、社会に貢献していると強く実感できる「ヘルスケア業界」への関心が高まりました。学生時代は主に経済を学んでおり、医学に関する知識が足りない自分には、ヘルスケア分野での社会貢献は簡単なことではないと分かっていましたが、それでもその高いハードルを跳び越えたい!と思い、この業種へ飛び込みました。最終的に、国際性が高い一面も魅力的な武田薬品工業への入社が決まりました。



の入社が決まりました。

広大生へのメッセージを!

1日に1分でもいいので、自分のことをじっくり考える時間を持つといいと思います。私は大学時代から、その日の気付きや、今やるべきことを「祖一ノート」と題したノートに書き記すようにしています(現在16冊目)。頭の中ではぼんやりとしていたことも、文字に起こしてみると初めて分かることがありますし、優先順位を付ける際に役立ちます。目の前のことに追われると、目標や思いがブレてしまいがちですが、そんな時こそ、自分と向き合う時間を大切にしてください。



高いハードルを越えて自分のやりたいことを実現する姿勢に感激しました。私も理想に近づくために、日々自分と向き合い、目標を明確にしていきたいと思います。取材・記事/総合科学部2年 東 菜里紗

お
仕
事
拜
見
!

O
B
&
O
G
紹
介

社会の第一線で活躍している先輩たちの職場を訪ねて、突撃インタビュー。仕事のことから学生時代に身に付けておくべきことは、またプライベートの話まで、私たち学生の素朴な疑問・質問にお答えいただきました。

取材を終えて



“興味”を 突き詰める

山本真由美 Mayumi Yamamoto
国土交通省 中国地方整備局
太田川河川事務所 大芝出張所
(2003年3月 工学部卒業)

現在どのようなお仕事をしていますか？

広島市内を流れる太田川の分岐点にある大芝出張所で、堤防や護岸など河川施設の点検業務や、工事現場を監督する業務を行っています。

洪水の危険がある時には、2つの水門の操作などを行い、川の水量を観測・調整しています。夜間や休日に関係なく出張所へ駆け付けて水門を操作しますが、住民の生活を守るという責任を常に感じています。そのため悪天候時の出勤経路を確認するなど、緊急時に迅速に対応できるよう普段から意識しています。住民からのお問い合わせを受けることが多くありますので、いつも「うまく伝わらなければ自分の力不足」と言い聞かせ、分かりやすい説明も心掛けています。



なぜこの仕事を選んだのですか？

父がよく日曜大工をしており、小学生の時、敷設したコンクリートに、名前と日付を彫る経験をさせてくれました。形となって残ることへの感動がきっかけで、土木の仕事に興味を持ちました。その後、高等専門学校で学び、「さらに知識を身に付けたい」と広島大学に編入学しました。高専では、水工学、大学では地盤工学に関する研究を行い、広い視野で将来のことを考えられるようになりました。そして、河川の計画から管理まで一貫して携われる国土交通省に魅力を感じ、今の仕事を志望しました。

広大生へのメッセージを!

大学時代はさまざまなことにトライできる時、つまり行動力を身に付ける時だと思います。やってみようと思ったら、ぜひ挑戦してください。失敗してもいい経験になり、目標が生まれるきっかけにもなるかもしれません。

私自身は、よく友達と集まっては鍋をして、いろいろな話をしていました。同じ職種に就いた友達もおり、今でも私の支えになっていますね。学生時代の友情も、大学で得た大きなものだと思います。



難しい内容も分かりやすく伝えてくださり、仕事への責任感に感銘を受けました。私も相手に分かりやすく伝えることを意識していきたいと思いました。取材・記事/経済学部3年 穴吹 暁

体感地球

“海外から広大へ”来て学んでいる外国人留学生&“広大から海外へ”行って学んでいる日本人留学生。
「外国人から見た日本は?」「日本人が見た外国とは?」。留学生ならではの視点で、見たこと、聞いたこと、感じたことをレポートします。



アメリカ合衆国から

言葉の壁を越えるために

デイビッド・ベンジャミン・シェイナ
David Benjamin Shaner
HUSAプログラム(アメリカ合衆国出身)

高校生の時の日本への旅行をきっかけに日本語に興味を持ち、アメリカ・メリーランド州立大学で言語学を専攻している。もっと日本や日本語について学びたいと、2014年8月から1年間HUSA(広島大学短期交換留学)プログラムで留学中。

さまざまな人との出会いを求めて

初めて日本に来たのは高校生の時でした。そこで日本という国に興味を持ち、日本語を勉強し始めました。アメリカの私の大学には



大学祭にて

なり、留学生も多く国際的な雰囲気の広島大学への留学を決意しました。

日本語の専攻がないので、周りの日本人の友達などから習うなどして、独学で日本語を学びました。そうした中で、「日本語を通して、いろいろな人と出会い交流したい、さまざまな文化に触れて多種多様な価値観、考え方を得たい」と思うように

留学だからこそ得られたこと

この留学を通じ、旅行では得られない多くの経験をしました。一番の経験は、いろいろな国の多くの友人ができたことです。短期の旅行と違い人との付き合いが深くなるので、自分の文化との違いに気付き、考えさせられることもよくあります。例えば、アメリカ人は直接的な発言が多く、互いの意見が衝突することもあるのですが、多くの日本人はその先の影響を考えてから発言するので、衝突が少ないと思います。私も日本に来てからは、言いたいことがあっても一度考えてから発言するようになりましたね。



初めて宮島に行った時の1枚



将来は強みを武器に

まだ将来具体的に何がしたいのかは決めていませんが、日本語と英語が使えるという自分の強みを生かした仕事に就きたいですね。そのために残りの留学期間でさらに日本語を上達させて、帰国後もしっかりと勉強したいと考えています。



冬休みに行った東京。六本木ヒルズの展望台からの景色。



目標に向かい本気で努力する姿勢を見て、目標を持って日々精進することが大事なのだと感じました。デイビッドさんの行動力を私も見習いたいと思います。取材・記事/理学部3年 小野 太郎



ザンビア共和国へ

自分の目で海外を見る

榊島 純子 Junko Kabashima
国際協力研究科修士課程修了(※取材時M2)

国際協力研究科(IDEC)の「ザンビア特別教育プログラム」に参加し、博士課程前期に在籍しながらアフリカ・ザンビアで2年間、青年海外協力隊として数学教師を務める。帰国後は、女子学生の妊娠による退学等に関する研究成果を修士論文にまとめる。

もっと子どもたちに教育を

私は小学生の頃、タイに10年間住んでいました。そこで自分より幼い子どもたちが学校に行けず働いている姿に衝撃を受け、彼らのために何かしたいと思うようになりました。

教育を通して子どもたちへの支援活動に携わりたいという気持ちは消えず、また学術の専門性も深めていきたいと考えていた時、それらが同時に実践できる「ザンビア特別教育プログラム」を知り、参加を決意しました。



数学のテストで高得点を取った生徒たちに手作りの賞状をプレゼント!



異文化の理解ということ

ザンビアはあまり時間に縛られない文化なのか、人々は集合時間に1時間ほど遅れてくることもよくあり、最初は戸惑いを隠せませんでした。ただ本当の異文化理解とは、単に全てを相手に合わせるのではなく、相手の文化を理解した上でこちらの考えも伝え、歩み寄ることだと思います。実際に、私が時間どおりに学校の授業を開始するのを現地の先生が見て、彼らが時間の大切さに気付き、少しずつですが行動が変わっていったということもありました。

「飛び出してみる」大切さ

まだ海外経験がない人は、自分の興味あることをきっかけに、海外へ「飛び出してみる」日本文化紹介イベントを開催ことをお勧めします。言葉の壁や文化の違いを不安に感じるかもし



れませんが、自ら足を運び現地の人々の生活や考え方に触れることで、自分の世界が広がります。ぜひ、一步踏み出しいろいろな場所に行ってみてください。新たな価値観に出会うのは、とっても楽しいですよ!

自給自足暮らしのザンビア。炭を使用し、畑から採れた野菜で今晚のおかず作り!



とにかく現地で異なる価値観の人と触れ合うことが大切と語る榊島さん。私は今まで海外に行ったことがありませんが、海外で視野を広げることの大切さを実感しました。取材・記事/総合科学部3年 桜田 諄

そここが知りたい! 学生取材班が行く

聞きに行くゾ〜

編集長!
持ダネ持って帰ります。

はやりのネタや時事問題、ちょっと気になる先生など、あなたの「知りたい」を学生取材班が調べてレポートします。

HU-style 学生スタッフならではの **出会い!**

4月号のテーマはズバリ「出会い」。実は、私たちHU-style学生スタッフも2005年の創刊以降、知りたいこと・気になることを追及し続け、さまざまな出会いを経験しています。そこで今回は、これまでつくってきたHU-style創刊号から40号の中より、印象的な「出会い」をピックアップして皆さんにご紹介します。スタッフになれば、こんな「出会い」ができちゃうかも。



こんな人に出会った!

本誌HU-styleの巻頭インタビューの取材では、普段の大学生活ではなかなか会えない方に会えます。例えば、芸能人の方では、アンガールズさんやアグネス・チャンさん。アスリートの方では、野球選手の前田健太さんや、サッカー選手の佐藤寿人さんなど、その世界で第一線を走り続けている方々などです。



そんな著名人の方々の中で、私が特に印象に残っている方は、第12号(2008年1月発行)に出演されたジャズピアニストの上原ひとみさんです。ピアニストってどんな職業なのか、何となくイメージしづらい印象を持っている人も多いのでは。記事によると、上原さんはスポーツと同じ感覚でピアノに向かい合っているそうで、ピアニストには華やかな印象があるので、余計驚きます。「努力・根性・気合」という言葉が大好きだとも語っていて、まるで高校球児が掲げるスローガンのよう。でも、人生を生きていくのに必要なものばかりだと感じました。上原さんに取材できた先輩スタッフがうらやましい!



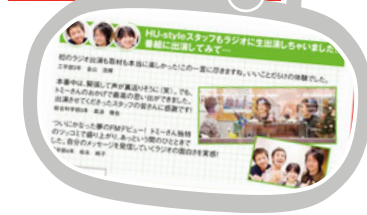
こんな経験に出会った!

巻頭インタビュー以外にも、スタッフがした貴重な経験はまだあります! 一番印象的なのは、第2号(2005年7月号)に掲載されている映画「ちゃんこ」のスタッフ体験です。広島大学の相撲部がモデルとなったこの映画は、東広島キャンパスがロケ地と

なっていたので、この企画が実現しました。実際の映画撮影の現場を体験する内容で、スタッフの方は常に撮影がスムーズに進むように、自分から仕事を探して実行していました。スタッフが体験の後は、何とエキストラとして映画にも出演! 大学生で映画製作に関われるチャンスなど、一度あるかないかです。これも、HU-style学生スタッフだからこそ出会えた経験です。



他にも広島市のFMラジオ局取材した記事では、実際にラジオの生放送に主演させてもらったり、テレビ局取材してニュース番組の制作現場を見学したり、いろんな経験と出会っています。



facebookも見てね!

学生スタッフによるfacebookページ
「広島大学広報誌HU-style」
<https://www.facebook.com/hirodaiHUstyle>
HU-styleの学生スタッフを
募集中です。連絡先は裏表紙を!

いかがだったでしょうか。HU-style学生スタッフが、広報誌の制作を通じて得た出会いはたくさん。私も今後の大学生活、まだまだ「出会い」に貪欲でありたいです。皆さんも、大学の内外を問わず、さまざまな出会いを経験してみてくださいね。それから、この記事を読んで私たち学生スタッフに、少しでも興味を持ってもらえるとうれしいです。 記事/経済学部3年 千原 佑太

過去のHU-styleは、右記のページに掲載されています! ぜひご覧ください。

広島大学学生情報の森「もみじ」→HU-style→バックナンバー
<https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/hu-style/hu-styleonline/post.html>



広大RUNNERS —NO RUNNERS NO LIFE—

私たち広大RUNNERSは「楽しみながら走る」をモットーに、学部生から院生までみんなで仲良く楽しく活動しています。走る目的もそれぞれで異なり、のんびりと走りを楽しむ人、ダイエット目的の人から記録を狙う人、本格アスリートを目指す人までさまざま。もちろん、走るのが苦手な方、陸上未経験の方も大歓迎です!! 普段は月曜日と木曜日の週2回、18時から東広島キャンパス北体育館前に集まり、18時30分からキャンパス周辺の

コースをみんなで楽しみながら走っています。最近のマラソン(ランニング)ブームの中、東京マラソンをはじめ、いろいろな大会に参加してみんなで走ると本当に楽しいですよ!

広大RUNNERSでは楽しいイベントを企画し、さまざまな大会に参加します。まだサークル等に入っていない人、どのサークルか迷っている人など、いろいろな行事等を通してみんなで思いっきり楽しみましょう! ホームページには、

今までの活動の軌跡や写真集・大会結果等も載っていますので、そちらもぜひ見てくださいね。そして! 広大RUNNERSに興味を持った方、練習に参加してみたい方、その他質問等ありま

したら、掲示板や代表宛でのメール等で気軽に連絡してくださいね! 広大RUNNERS一同、皆さんにお会いできるのを楽しみにお待ちしております。



24時間リレーマラソンに挑戦!



夏合宿の様子

記事/広大RUNNERS・経済学部3年 高橋 凌之
連絡先 ▶ b132866@hiroshima-u.ac.jp
HP ▶ <http://www.geocities.jp/hiroairrunners/>

広島大学体育会硬式庭球部 ~中四国王座優勝! 全日本で一勝!~

こんにちは! 体育会硬式庭球部です。私たちは東広島キャンパス第5テニスコートにて男子17人、女子6人、マネージャー2人の計25人で活動しています。部員の中には、インカレや高校時代にインターハイへ出場した人もいれば、全くの初心者やテニスを始めたばかりの人もいて、本当に個性的なメンバーがそろっています。

体育会庭球部のイチオシポイントは何といっても恵まれた練習環境です。私たちが使ってい

るコートはナイターも完備しており、毎日朝から21時まで使えます。また、スポーツ心理学を専門とされている部長の関矢先生や、数々の指導実績をお持ちで部のOBでもある平岡コーチ、そしてスポーツジムのトレーナーの方々など、たくさんの方に指導・サポートをいただいています。もちろん、学生の本分である勉強や、アルバイトなども両立できます。

そんなテニス部(庭球部)の目標は、毎年夏に行われる中四

国地区の大学で競う「王座」という団体戦で優勝し、全日本王座で一勝を挙げることです。その目標に向かって、時間を有効に使い、楽しく充実した大学生活を送れます。合宿や飲み会な

ど魅力的なイベントも盛りたくさんです! 詳しい活動内容や部員紹介等は、ホームページやFacebookをご覧ください。まずは気軽に第5テニスコートまで!



中国五大学学生競技大会では男女でベック優勝!



昨年の「王座」での熱戦

記事/広島大学体育会硬式庭球部・教育学部4年 藤田 裕也
連絡先 ▶ y.f.tennis.0721@icloud.com HP ▶ <http://hiroditennisclub.web.fc2.com>
Facebook ▶ <https://www.facebook.com/GuangDaoDaXueYingShitenisuBu>

広島アセアン留学生協会 Hiroshima ASEAN Student Association (HASA) Hi! Let's be friends with us! We will introduce you ASEAN culture!

皆さん、ASEANの世界へようこそ! ASEAN(アセアン)とは、東南アジア10カ国(インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス)からなる東南アジア諸国連合です。実は広島大学には270人以上のアセアン諸国出身の学生がおり、2015年2月6日にこれらの学生をメンバーとして、私たちHASAが発足しました。HASAは、今後広島大学だけでなく、広島県内すべてのアセアン諸国

の学生をメンバーとして、さまざまな活動を行っていく予定です。

今年6月6日(13時~16時30分)に、東広島市中央生涯学習センターで「広島アセアンフェスティバル」を行います。このイベントでは、各国の伝統料理が無料で試食できるほか、歌や伝統的な踊りの披露もあります。昨年6月に初めて開催し大成功に終わった「東広島アセアンフェスティバル」に続き2回目となるこのフェスティバルに、ぜひ皆さん来てくださいね! 詳しい情報は

HASAのFacebookなどで発信します。

HASAの学生たちはさまざまな文化を持っており、友達になるとたくさん面白いことが発見で

きます! ぜひ、アセアン諸国以外の広大生たちも、HASAの行うイベントに参加したり、学内で声を掛けたりして、友達になってくださいね!



今年の2月に設立を記念したイベントを行いました!



昨年の東広島アセアンフェスティバルの様子

記事/HASA・生物圏科学研究科D3 Sofya Suidasari(ソフィア・スイダサリ)
連絡先 ▶ sofyasuidasari@hiroshima-u.ac.jp
Facebook ▶ <https://www.facebook.com/groups/hiroshimaaseanfestival/>

学内の重要なお知らせから、
耳寄りなニュースまで。
広大生必読のインフォメーションです。

アクセシビリティリーダー認定証授与式を開催

3月11日(水)、東広島キャンパスで、アクセシビリティリーダー認定証授与式を開催し、本学の第9期アクセシビリティリーダー 62人(1級18人、2級44人)に対し、浅原利正学長(アクセシビリティリーダー育成協議会会長)から、認定証が授与されました。

広島大学は、個人や社会・環境や状況の多様性をよく理解し、さまざまな文脈において「アクセシビリティ(利用しやすさ・参加しやすさ)」をリードできる人材の育成を目指して「アクセシビリティリーダー育成プログラム(ALP)」を開発・推進しています。

第9期にあたる本年度は、6大学1企業でALPが実施され、全国で学生、大学教職員、社会人合わせて121人が、アクセシビリティリーダーに認定されています。

問い合わせ先：広島大学アクセシビリティセンター

TEL&FAX：082-424-6324

E-mail：achu@hiroshima-u.ac.jp



1級表彰者



2級表彰者

文章作成に困ったらライティングセンターへ

ライティングセンターでは、レポートや授業課題などの学術的な文章の作成をサポートします。レポートをどのように書いたらいいかわからない、自分の書いたレポートに自信がないという方、ぜひライティングセンターへお越しください。

大学院生のチューターが、個別に皆さんの文章作成の相談に応じます。より分かりやすい文章をチューターと一緒に作っていきましょう。

時間：授業期の平日 10:30~17:45 場所：中央図書館 1階

予約：ライティングセンターのホームページから(現地で予約可)

HP：http://www.hiroshima-u.ac.jp/wrc/ 問い合わせ先：図書館 図書学術情報普及グループ

TEL：082-424-5631 E-mail：toshu-fukyu-wrc@office.hiroshima-u.ac.jp



就職関連のイベント情報

グローバルキャリアデザインセンターでは、就職に関するイベントの他、個別相談なども行っていますので、積極的に活用してください。詳細はMyもみじ掲示板またはグローバルキャリアデザインセンターホームページでご確認ください。

●学内合同企業説明会

日時：4月26日(日) 午前の部/10:00~13:30 午後の部/14:30~18:00

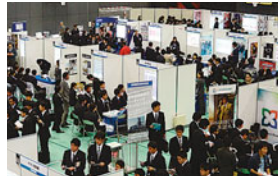
場所：東広島キャンパス西体育館 ※参加企業はホームページを参照

●学内個別企業セミナー(3月から開催中の個別セミナー。3月の94社に続き、4月は28社が来学します。)

日時：~4月28日(火) 18:10~19:10 場所：総合科学部講義棟 等 ※参加企業はホームページを参照

共通 問い合わせ先：グローバルキャリアデザインセンター TEL：082-424-5827

E-mail：career-group@office.hiroshima-u.ac.jp HP：http://www.hiroshima-u.ac.jp/kyaria/



PRコーナー

平成27年広島大学大学院教育学研究科 造形芸術教育学専修2年生/教育学部造形芸術系コース4年生

このたび、以下の日程で制作展を開催いたします。会場には、絵画、彫刻、デザイン分野の数多くの個性あふれる作品が展示されます。創造性豊かな学生たちの日頃の活動の成果をゆっくりご覧ください。
学内展・学外展とも入場無料ですので、皆さんでお誘い合わせの上、ぜひお越しください。

学内展 会期：2015年6月7日(日)~6月11日(木) 10時~20時
場所：広島大学東広島キャンパス 学生会館 1F 大集会室
学外展 会期：2015年6月14日(日)~6月19日(金) 10時~19時
場所：東広島市市民文化センター 3F アザレアホール

問い合わせ先：教育学研究科 造形芸術教育学講座資料室 TEL：082-424-7140
HP：http://www.hirodai-biken.com (広島大学造形芸術系コースの学生によるホームページ)

広島大学学生環境サポーターで環境活動をしてみませんか?

広島大学学生環境サポーターは環境に関心のある学生が主体となり、学内・地域に向け環境活動の企画・運営をしています。昨年度は学内の自然観察会やクリスマスリース作りなどの環境教育、ポスターによる省エネ啓発などを行いました。今年度も自然環境や環境教育、社会貢献に興味がある方のご協力や新しいサポーターを随時募集しています。

問い合わせ先：E-mail：hu.kansapo@gmail.com

詳しくは▶ [もみじTOP](#)・[学生生活のサポート](#)・[学生環境サポーター](#)



平成26年度学生表彰

広島大学は、学術研究活動、課外活動、社会活動等において特に顕著な成績・功績を挙げた学生を表彰しています。

学生表彰

●学術研究活動(学部生)

学部ごとに、卒業する学生の中から原則1人の「成績優秀者」を選定

- 総合科学部/藤城 旭
- 文学部/波多野瑠璃
- 教育学部/小澤 郁美
- 法学部/伊藤 優太
- 経済学部/森岡 万貴
- 理学部/平野 喬平
- 医学部/満嶋マリア
- 歯学部/玉本 詩佳
- 薬学部/宮本未緒花
- 工学部/池本 光良
- 生物生産学部/曾我部知史

専門領域において国内外の学界で高く評価される研究実績を挙げた者

工学部/北村 拓也

(U-22プログラミング・コンテスト2014でCSAJ会長賞を受賞した)

●学術研究活動(大学院生)

研究論文、研究業績等が国内外の学界において特に高い評価を受けた者

大学院総合科学研究科博士課程後期/鬼塚純玲
(第69回日本体力医学会大会において、大塚スポーツ医・科学賞特別賞を受賞した)

大学院理学研究科博士課程後期/菅原 峻(第22回基礎有機化学討論会において、ポスター賞を受賞した)

大学院先端物質科学研究科博士課程前期/緋田安希子(環境微生物系学会合同大会2014で優秀ポスター賞を受賞した)

大学院医歯薬学総合研究科博士課程/清水誠一(2014 world transplant congressにおいて、Young Investigator awardを受賞した)

大学院医歯薬保健学研究科博士課程/佐々木勇人(胆管癌におけるhENTI、RRMI発現の研究論文がBritish Journal of Cancerに掲載された)

大学院工学研究科博士課程前期/木下拓矢(SICE Annual Conference International Award Finalistを受賞した)

大学院工学研究科博士課程後期/Obie Farobie

(化学工学会中国四国支部大学院生発表会優秀発表賞を受賞した)

大学院生物園学研究科博士課程後期/新居隆浩(日本家禽学会2013年度秋季大会において、日本家禽学会優秀発表賞を受賞した)

大学院国際協力研究科博士課程後期/範 心視(日本草地学会優秀若手発表賞を受賞した)

●課外活動

体育系：「全国規模の競技会での入賞及びそれに準じる成績」以上の成績を収めた者

文化系：「全国規模のコンクール等での高い評価及びそれに準じる評価」以上の評価を得た者

体育会剣道部/中川澄霞(第48回全日本女子学生剣道選手権大会・3位)、磯邊夏紀・白石愛・中川澄霞・中西夏希・新濱華帆・濱本想子・古田 薫(第33回全日本女子学生剣道優勝大会女子団体・ベスト8)

体育会硬式ソフトボール部(男子)/青垣圭亮・荒木一真・岡崎恭成・尾中泰晴・小野弘汰・片岡真一・鎌田祐介・久保光野・琴岡隼志・佐藤優介・庄林 希・新谷恭平・高木 遼・辻 天薫・

典略真樹・昇 誉也・橋本卓磨・東浦友樹・森島慎也(文部科学大臣杯第49回全日本大学男子ソフトボール選手権大会・ベスト8)

体育会自動車部/伊藤大志(平成26年度全日本学生ダートトライアル選手権大会男子個人・3位)、伊藤大志・大三直人・杉 拓磨(同大会男子団体・2位)、伊藤大志・大三直人・杉 拓磨(平成26年度全日本学生ジムカーナ選手権大会男子団体・8位)、伊藤大志・今井拓也・大三直人・小川直也・塩飽朋也・杉 拓磨(全日本エコドライブチャンピオンシップ2014男子団体・3位)

体育会陸上競技部/金崎 葵(第38回全日本競歩能楽大会女子日本学生20km競歩・7位)、金崎 葵(第53回全日本競歩輪島大会女子全日本10km競歩・6位)、山田千花(同大会女子ジュニア10km競歩・7位)、綾 里奈(天皇賜盃第83回日本学生陸上競技対校選手権大会女子棒高跳・3位)

水中ホッケー/高阪将人・鈴木悠太・新野洋平・三田修平・鎗目恭平(第11回水中ホッケー日本選手権大会男子・3位)

DAMAけん/里田優太(Kendama World Cup Hatsukaichi2014・世界5位)、濱崎晶健(2014年全日本けん玉道もしかめ選手権大会一般の部・優勝、総合優勝)

国際協力研究科/高阪将人(第26回フィンスイミング日本選手権大会シニアの部男子400mピーフィン・2位、シニアの部男子1500mピーフィン・3位)

吹奏楽団/朝倉 綾・伊賀仁美・池岡 優・池村春雄・石尾優衣・伊藤靖子・内田麻美・大成安澄・岡崎陽平・岡田倫弥・梶田紗英子・加藤 栞・北山佳恵・幸田里咲・河野隆太郎・後藤一希・佐藤優妃・茂松郁弥・瀬尾結香・高比良桃子・高村莉奈・竹原いづみ・田中玲衣奈・田邊千佳・寺尾綾華・寺沢知樹・徳永佐和・土橋洋介・富永真帆・長尾柚杏・那須香子・新見 瞭・二宮拓也・温品慶明・野村祥太・原之園渉・平田章悟・福伊一慧・藤田早紀・分藤李奈・前田智美・前田侑子・升田智紀・松崎流成・溝上結女・宮脇真由・安田香穂・安田早希・山崎直人・渡邊愛依(第62回全日本吹奏楽コンクール大学の部・銀賞)

百人一首愛好会/下村 楓(第21回全日本大学かるた選手権大会2回生の部B・準優勝)

広大漫オケ(笑)/徳永 敦・長谷川和人(大学生M-1グランプリ2014・優勝)

教育学部/岡田倫弥(第15回大阪国際音楽コンクール全国大会管楽器部門木管Age-U・エスポール賞(4位))、山口 麗・山野井瑞月(第5回ヨーロッパ国際音楽ピアノコンクールin Japan 全国大会連弾D部門・銀賞)

●社会活動

ボランティア活動、人命救助、犯罪防止、災害防止等の社会活動で特に顕著な功績があった者

OPERATIONつながり/青山 聡・阿部杏南・阿部野直緒・アーマッドスパンヒダヤット・安西優華・石川太陽・稲山 諒・今川大樹・祝迫郁美・岩永奈々恵・岩永嘉人・上洲まどか・上畠さち・遠藤恵梨花・大塚侑奈・大橋俊仁・大畠吉裕・大森麻由・岡本紗季・沖中香里・小倉萌・鬼村直生・鬼村はるか・鬼村昌志・角田慎吾・加藤雅菜・角口七月・金子夕紀・河原真央・神原広平・菊永真帆・葛原裕恒・黒高絵里奈・桑原桃子・幸田小麦・小佐井健士朗・児玉佳奈美・後藤未芽・小林美月・酒井春佳・島 智里・鈴木裕太・関戸 豪・高木真登・竹崎誠司・竹宮遼・田坂真浩・伊達文香・田中昌平・田中 豊・田中竜人・田原唯依・千葉あかり・寺坂絵里・寺本芳瑛・徳田博明・富吉亘哉・永井千晶・中内祥子・中田桃子・中村龍太・新居広大・二宮彰悟・野仲真理子・橋本美咲・濱 優太・韓金航・平田 萌・廣藤万莉菜・袋井伸哉・藤尾

春菜・古家優月・前田修平・前村友袈・舛田菜緒・三浦 萌・水野 遥・溝淵博信・三山まりこ・宮本拓真・望月康平・森 千晴・森田みなみ・安田祝人・山口智大・山崎智咲・山下いづみ・山下 隼・山下未来・湯川真司・吉永美穂・和田建駿・渡邊陽太・綿引将人(東日本大震災の被災地できざまな復興支援を行った)。また、広島市土砂災害では被災地の復興のためのボランティア活動を行い、西条キャンパス内で学生ボランティアを取りまとめ、900名以上を現地に派遣するなど積極的な支援を行った)

学校心理教育支援室「にこにこルーム」支援員/安藤祐里・飯田紗英・和泉厚杜・井原佳奈・北脇柚良・奥村珠実・梶原 綾・川口拓人・北脇麻衣・久保慶恵・品川真穂・新尾葉月・瀧江麻未・田中紗枝子・田中雅弥子・永田結子・西平由絃・東 和浩・細川 真・柳林美江・山内芙美・吉井湧人・若崎望光(広島市土砂災害で被害の大きかった広島市梅林小学校へ行き、災害により不安を抱える児童に対し学校生活への支援を行った)

国際医療研究科COCO/沖本昂祐・小田隆之・窪田星子・杉原百芳・杉山謙一郎・刀根万瑠美・藤田真理子・美野正彰・美野真乃・山岡桃子・吉田龍平(広島市土砂災害への復旧作業に対し、市をはじめとする災害支援団体と協調し、現地において積極的な支援を行った)

副学長表彰

●課外活動(体育活動)

ブロック規模(西日本大会、中国・四国地区大会、中国地区大会)の競技会での優勝者

体育会アーチェリー部/竹澤巧基(第25回西日本大会選考会男子RC部門・1位)、尾島康仁(第34回中国四国学生フィールド選手権大会男子RC部門・1位)、田中恵美(同大会女子RC部門・1位)

体育会アメリカンフットボール部/阿部 亮・井川竜樹・石田源也・猪野智哉・岩川豪士・上田佳樹・大久保創志・大田恭介・岡田将希・加藤正暉・川本駿佑・北川文哉・久保佳大・小林大祐・小森凱貴・小森園健和・佐藤崇之・草野真樹・高田 卓・竹濱壮一郎・谷口元祐・津村穂里・中島良彰・西野真弘・二宮勇人・能勢達希・濱田昂志・原 直希・原口貴匡・廣田優史朗・坊寺貴裕・益田周弥・松井寛太・松井賢司・松長龍之介・松本大輔・松本直之・三宅大地・山路龍太・吉岡泰三(中国四国学生アメリカンフットボールリーグ2014秋季リーグ戦・優勝)

体育会剣道部/磯邊夏紀・中川澄霞・中西夏希・濱本想子・古川奈穂・古田 薫・古田千佳(第41回中国四国女子学生剣道優勝大会女子団体・1位)、中川澄霞(第46回中国四国女子学生剣道選手権大会・優勝)

体育会硬式庭球部/松川祥子(平成26年度春季中国四国学生テニス選手権大会女子シングルス・優勝)

体育会硬式ソフトボール部(男子)/青垣圭亮・荒木一真・岡崎恭成・尾中泰晴・小野弘汰・片岡真一・鎌田祐介・久保光野・琴岡隼志・佐藤優介・庄林 希・新谷恭平・高木 遼・辻天 薫・典略真樹・昇 誉也・橋本卓磨・東浦友樹・森島慎也(第49回全日本大学(男女)ソフトボール選手権大会兼第46回西日本大学ソフトボール選手権大会—中国予選会—男子・第一代表決定)

体育会硬式ソフトボール部(女子)/古瀬加奈子・手柴美波・寺井はるひ・中川京子・中村晴香・奈須野玲加・野崎麻里・守田 渚・横山 萌・頼経 茜(第49回全日本大学(男女)ソフトボール選手権大会兼第46回西日本大学ソフトボール選手権大会—中国予選会—女子・第一代表決定)

体育会自動車部/伊藤大志・大三直人・杉 拓磨(全中四国学生ジムカーナ選手権大会男子団体・優勝)、伊藤大志(全中四国学生ダートトライアル選手権大会個人・優勝)

体育会水泳部/小畑朱里(第45回中国四国学生選手権水泳競技大会女子100mバタフライ・1位)、原 美波(同大会女子200m個人メドレー・1位、女子400m個人メドレー・1位)、福田洋顕(同大会男子400m個人メドレー・1位)、原 美波(第61回全国公立大学選手権水泳競技大会女子200m個人メドレー・1位、同大会女子400m個人メドレー・1位)、赤松一成(同大会男子50m自由形・4位、同大会男子100m自由形・6位)、西尾 健(同大会男子400m自由形・8位)、家頭 慈(同大会女子400m個人メドレー・7位)、藤坂百恵(同大会女子200mバタフライ・5位)、原 美波・村越友紀・小畑朱里・家頭 慈(同大会女子200mフリーリレー・6位、同大会女子400mメドレーリレー・5位)、原 美波・村越友紀・小畑朱里・藤坂百恵(同大会女子400mフリーリレー・8位)

体育会体操部/江崎 圭・阪本 啓・佐野雄一・筑後真智・松原 聖・森田拓志(中国・四国学生体操競技大会団体・優勝)、松原 聖(同大会個人種目別平行棒・優勝)

体育会卓球部/有津和秀・小坂康文・千歳真平・仙頭克実・長坂康平・西岡拓朗・野嶋仁志・藤田陸登・村上和滉・山田健二(第65回中国学生卓球選手権春季大会男子団体・優勝)、有津和秀・小坂康文(同大会男子ダブルス・優勝)、有津和秀・奥田哲司・奥村聡太・神山盛熙・小坂康文・仙頭克実・長坂康平・野嶋仁志・藤田陸登・前田卓也(第65回中国学生卓球選手権秋季大会男子団体・優勝)、有津和秀・小坂康文(同大会男子ダブルス・優勝)、西廣香奈(第46回中国新人学生卓球選手権大会女子シングルス・優勝)

体育会馬術部/大上あすみ・川西真奈美・北山大貴・黒澤茉莉・佐々木やまと・住田大亮・田原千聖・二井岡友美・藤井啓右・松永起亮・宮川慧・米谷まり(第28回夏季中国・四国地区学生馬術大会・総合優勝)

体育会バスケットボール部/荒川皓基・伊勢本文・江島智博・榊原康太・佐藤哲人・下奥 元・角田泰地・滝沢大吾・年藤健史・中原克浩・西村晃輔・橋本 真・日永田将・平田 匠・深谷研介・目崎祐介・森田恭平・山崎真治・山地智司・山田圭治・和田勇人(中国大学春季大会男子・優勝)、伊勢本文・岡村悠太郎・金井奎太・河野悠毅・角田泰地・年藤健史・西村晃輔・濱岡舜・平田 匠・村上直希・森田恭平・山崎雄士・山崎真治・山地智司・吉安海斗(第6回中国大学バスケットボール新人大大会男子・優勝)、荒川皓基・伊勢本文・江島智博・榊原康太・佐藤哲人・角田泰地・滝沢大吾・年藤健史・中原克浩・濱岡 舜・日永田将・平田 匠・深谷研介・森田恭平・山崎真治(全日本大学バスケットボール選手権大会中国地区予選会男子・優勝)

体育会バレーボール部/磯村美菜子・浴田紗織・甲斐百絵・近藤美咲・佐藤由惟・志方 葵・高部英美香・高良美祐・中川沙紀・中嶋梨沙・松尾郁美・松下由樹・守山明沙季・山本紗良・渡邊なるみ(平成26年度第79回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会女子一部・1位、第58回中国四国学生バレーボール選手権大会・1位、平成26年度第80回中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会女子一部・1位)

体育会フェンシング部/田中 歩(第50回全国公立大学フェンシング選手権大会女子個人フルール・優勝)

体育会ボクシング部/大深啓佑(第41回中国大学ボクシング選手権大会バンダム級・1位)、上村幸太郎(第39回中国大学ボクシング秋季大会フライ級・1位)、岡田誠也(同大会ライト級・1位)

体育会ヨット部/池田光生・川原顕吾・西山謙仁(第64回中国学生ヨット選手権大会国際スナイプ級・1位)

体育会陸上競技部/足立達也(第68回中国四国学生陸上競技対校選手権大会男子100m・1

位)、綾 里奈(同大会女子棒高跳・1位)、金崎 葵(同大会女子1000mW・1位)、古市裕磨(同大会男子砲丸投げ・1位)、横田知佳(第37回中国四国学生陸上競技選手権大会女子3000mSC・1位)、中島 友(同大会女子10000mW・1位)

●課外活動(芸術・文化活動)

ブロック規模(西日本大会、中国・四国地区大会、中国地区大会)のコンクール等で最も高い評価を得た者

吹奏楽団/朝倉 綾・伊賀仁美・池岡 優・池村春雄・石尾優衣・伊藤靖子・内田麻美・大成安澄・岡崎陽平・岡田倫弥・梶田紗英子・加藤 栞・北山佳恵・幸田里咲・河野隆太郎・後藤一希・佐藤優妃・茂松郁弥・瀬尾結香・高比良桃子・高村莉奈・竹原いづみ・田邊千佳・寺尾綾華・寺沢知樹・徳永佐和・土橋洋介・富永真帆・長尾柚杏・那須香子・新見 瞭・二宮拓也・温品慶明・野村祥太・原之園渉・平田章悟・福伊

一慧・藤田早紀・分藤李奈・前田智美・前田侑子・升田智紀・松崎流成・溝上結女・宮脇真由・安田香穂・安田早希・山崎直人・渡邊愛依(第55回全日本吹奏楽コンクール中国大会・金賞)
法学研究会/藤本崇紘(第64回全日本学生法律討論会立論の部・第6位)

●課外活動

ボランティア活動を行い、学内外において多大な貢献をしたと認められる者

総合科学部/福岡奈織(若い世代を対象とした被爆体験の継承活動を国内外で活発に行った)

医歯薬保健学研究所/佐々木康介(身体障害者野球チームの練習や試合にボランティアスタッフとして定期的に参加し、選手のサポートや大会の運営補助等を行った)

生物圏科学研究所/ソフィアスィダサリ(初めて開催された東広島アセアンフェスティバルの実行委員長として活躍し、広島大学と広島アセアン協会、日本ASEANセンターとのつながりを構築した)

ピア・サポーター/赤松聡美・小澤郁美・唐本ふみ・坂本結里・吉田嵩一郎(ピア・サポーターとして本学の学生相談支援活動に貢献した)

学校心理教育支援室「にこにこルーム」支援室/酒井麻未・宮村 悠・森恵梨菜(にこにこルームの活動において、教育臨床面に問題や不安を抱える児童・生徒に対し、さまざまなサポートを行い、地域へ大きく貢献した)

看護ボランティアサークル mich/池田彩乃・酒井真央・武本沙弓・橋本温代・美野正彰・美野真乃(路上生活者の健康管理を行い、また広島難病団体協議会及びミオバチーの会オリープの活動に参加し、支援を行った)

広島大学キャンドルサークル灯/池本 愛・磯谷真由・瀬戸奏音・廣池怜奈・前濱裕也・松本紋佳・御手洗綾・山口裕実(東広島市を中心に、定期的にキャンドルナイトやキャンドル作り教室を行っており、広島大学という枠を超えた地域の人々を巻き込んだ感動と憩いの場を提供した)

主なスケジュール 2015年4月~2015年8月

3月下旬~4月下旬	・G.ecbo(海外インターンシップ)プログラム参加学生募集開始	5.8~5.18	・日本学生支援機構奨学金申請受付(新入生)	7.4	・IELTS事前対策講座
4月上旬	・新入留学生オリエンテーション	5.11~5.15	・留学WEEK	7.12	・ゆかたまつり
4.1~4.3	・G.ecbo day(募集説明会)	5月中旬	・合同留学体験報告会	7月中旬~8月中旬	・学生による授業評価アンケート回答期間
4.3~4.14	・健康診断*	5.16	・前期授業料振り込み締切(新入生・科目等履修生・研究生)別途、振込依頼書に記載します。	7月下旬~7.21	・G.ecboプログラム派遣開始
4.4~4.5	・入学式	5.27	・TOEIC@IPテスト	7.30~8.7、8.20~9.10	・学位記(博士)授与式
4.7	・交通安全講習会	5月下旬~6月上旬	・TA研修会(霞)		・後期分授業料免除申請受付*申請受付期間の詳細は「授業料免除申請のしおり」等で確認してください。
4.8	・TA研修会(東広島)	5.30	・STARTプログラム参加学生募集選考		
4.9~4.15	・第1ターム授業開始		・前期授業参観週間	8.5~8.11	・INU学生セミナー
4.9~4.15	・日本学生支援機構奨学金出願受付*(学部2年生以上)		・TOEFLスキルアップセミナー	8.6	・原爆死没者追悼式
4月中旬~4.17~4.24	・オリエンテーションキャンプ*			8.11	・前期授業終了
4.17~4.24	・日本学生支援機構奨学金出願受付*(大学院在学採用)	6月上旬	・フェニックスコンサート(予定)	8.12~9.30	・夏季休業
4月下旬	・会話パートナー	6.9~6.17	・履修手続期間(第2ターム開講科目)*	8.18~8.19	・オープンキャンパス*
4.30	・NOIEオリエンテーション	6.11~6月下旬	・第2ターム授業開始	8月下旬	・HUSA(短期交換留学)派遣学生追加募集(オセアニア)締切
	・前期授業料振り込み締切(新入生・科目等履修生・研究生を除く)		・海外渡航リスク管理セミナー		

注意
*印のあるものは、学部・研究科などによって日程が異なります。必ず「もみじ」やHP、掲示板などで確認してください。

編集部からのお知らせ

●HU-style(エイチユースタイル)編集基本方針

○学生に「挑戦する、行動する」一つのきっかけにしてもらうべく、「人」に焦点をあて、学生、教職員、卒業生をはじめさまざまな人々が持つ多様な個性、価値観など(style)を紹介する。

○本学に関する情報の伝達と周知

●投稿募集

①掲載記事について

1件につき、400字以内でお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。文章は編集部で手直しさせていただきますことがあります。紙上で匿名もOKです。

②情報の提供、『HU-style』への提言

取り上げてほしい人物・テーマなどの情報をお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。
※①②とも、原則としてEメールで投稿してください。

●定期購読のお申し込み

保護者など学外の方にも、発行後に発送を行っています(無料)。定期購読を希望される方は、住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業を明記し、Eメールまたはハガキでお申し込みください。

●本誌の記事・写真等の無断転載を禁じます

●個人情報保護について

投稿、応募、購読申し込みに記載の個人情報は、編集部からの連絡に利用します。投稿および応募結果は、本誌以外の各種媒体に掲載する可能性があり、掲載

時には原則として、氏名、所属、学年を記載します。事前に承諾を得ない限り、個人情報をこれ以外の目的には利用しません。郵便物やEメールなどは適切に管理し、使用後は破棄します。

●お問い合わせ・お申し込み

広島大学広報グループ『HU-style』編集担当(連絡先は下記参照)

編集後記

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは今、いろいろな期待や不安を抱えながら、広島大学での生活をスタートさせました。また、在学生の皆さんも、新しい1年の始まりに、さまざまな思いを抱えていることと思います。そんな皆さんにHU-style学生スタッフが伝えたいのは、「実は出会いは日常にあふれているんだよ」ということ。キャンパスの中でも、外でも、多くの人と出会い、たくさんの経験をしてほしい、というエールを込めて、今号のテーマを「出会い」に決めました。私にとっても新たな出発・出会いの春となります。うれしい時も、悩む時もあるでしょうが、1日1日の「出会い」を楽しんでいきたいと思います。(編集部員K)



COVERな人第41号

●素敵な出会い

コメント

今号の表紙モデルは、左から文学研究科MIの王 敏敏(オウ・ピンピン)さん、総合科学研究所MIの彭 蕾(ホウ・ライ)さん、医学部4年生の三谷雄己さん、教育学部2年生の望月康平さんの4人です。初めて出会った皆さん、最初は緊張した様子でしたが、徐々に打ち解け、とても良い笑顔を撮ることができました。キャンパス内にあるカフェでの撮影ということもあり、終始和やかな雰囲気での撮影現場でした。撮影後もお互いの話をして盛り上がるなど、まさに今回のテーマ「出会い」にふさわしい表紙となりました。皆さんもこの春ぜひ、素敵な出会いをたくさんしてください!! そして、大学生活を一緒に楽しみましょう。

HU-style

HU-style 2015年4月号 Vol.41(季刊)
編集・発行:広島大学広報グループ
住所:〒739-8511 広島県広島市鏡山一丁目3番2号
電話:082-424-4518 Fax:082-424-6040
E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp
※次号は7月上旬発行予定です。
(4月、7月、10月、1月の年4回発行)